

資料番号	17
------	----

令和5年9月12日
課名 土木建築局港湾漁港整備課
担当者 課長 高橋
内線 4002

海岸カメラの設置及び画像の公開について

1 要旨・目的

広島沿岸の海岸において、台風接近時や津波発生時等における危険の切迫度を伝えるため、海岸カメラを設置し、WEBサイト「高潮・津波災害ポータルひろしま」において公開した。

2 現状・背景

令和3年3月に策定した「ひろしま海岸防災プラン2021」では、デジタル技術を活用した適切な避難行動に繋げる取組として、海岸の状況をリアルタイムで確認できる海岸カメラの設置を推進し、さらに地域の高潮・津波リスク等をわかりやすく「見える化」し、県民の「自助」・「共助」を支援することとしている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

潮位状況の変化や波浪、越波の状況を把握するため、県内の潮位観測所13箇所に海岸カメラを設置し、カメラ画像^(※)をWEBサイト「高潮・津波災害ポータルひろしま」により公開するため、システム改修を実施した。

高潮・津波災害ポータルひろしま：

<https://www.takashio.pref.hiroshima.lg.jp/portal/top.aspx>

潮位観測所 (全13箇所)	大竹、広島、柿浦、倉橋、呉、御手洗、木江、竹原、土生、糸崎 尾道、横田、福山
------------------	---

※5分毎の静止画像

(3) スケジュール

令和5年8月18日（金）運用開始

(4) 予算（単独事業）

9,200千円

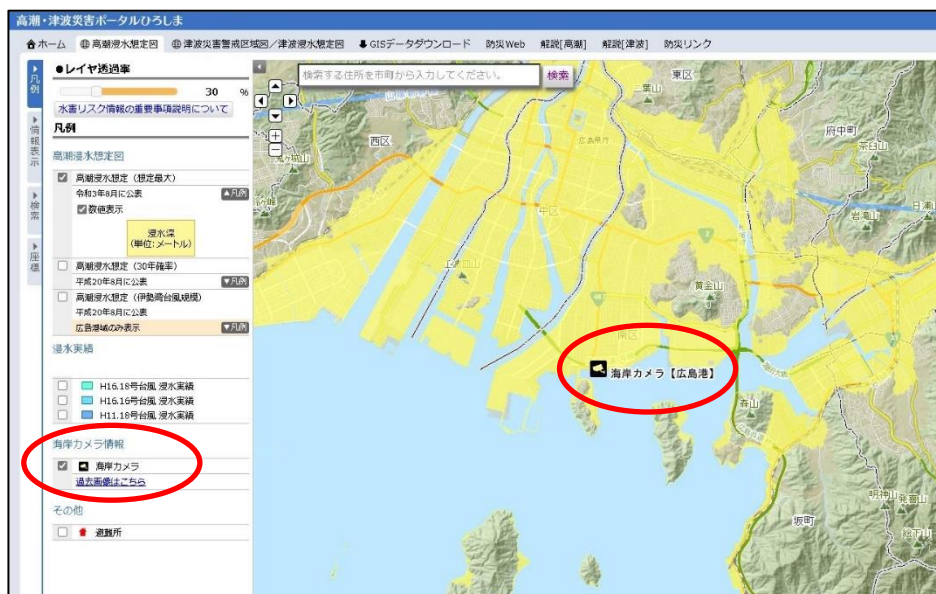
(5) 今後の対応

引き続き、地域の意見を聞きながら、防災上必要な箇所や管理上必要な箇所を選定し、カメラの増設を進めていく。

4 参考図



【海岸カメラ設置箇所 位置図】



【HP：高潮・津波災害ポータルひろしま】



【公開画像例（広島検潮所）】